## ◆バルン生協の紹介

・バルンの意味は「正しい」。生協全国連合会、ドウレ生協連合会に加盟。組合員数 6500 人、供給高 47 億ウオン（34 億 8 千万円）（店舗 29 億ウオン（21 億 5 千万円）、無店舗 18 億ウオン（13 億 3 千万円））、職員 28 人（正職員 5 名、パート 19 名、委託 4 名）。店舗数 5。主な活動は、「都農交流の日」、牛乳パック・廃油・電池などの「再活用運動」「韓国の小麦粉を生かす運動本部」、「地域集い」、「ともに生きる学びの場」、「アトピー集い」、「水源地区委員会」、「農村奉仕活動」、「生態集い」（大人・子供）、「歴史集い」

| | | | |
|---|---|---|---|
| バルン生協<br>Ｂａｒｕｎｃｏｏｐ | | ホームページ | www.barun.coop |
| | | e-mail | barun1985@hanmail.net |
| 住所 | 668-25,Anyang5-dong,Manan-gu,Anyang-si,Gyeonggi-do<br>Republic of Korea | | |
| Tel | 031-444-6665<br>82-31-444-6665 | Fax | 031-448-6664<br>82-31-448-6664 |

### 生　協　紹　介

□ 目 的： 自然との共生、隣人との信頼回復、協同的な生活共同体形成を通した真に人間らしい人生と住みよい生活環境を作り出すこと。

□ 理 念： 消費者と生産者が協力し、隣人とともに協同して作り出す生活協同組合運動.

□ ビジョン：組合員１人１人の加入と生活材利用拡大を通した、地域社会での生協運動拡大.

| | | |
|---|---|---|
| 沿　革 | ▪1985. 5. 創立総会<br>▪1986. 3. 生協全国連合会 加入<br>▪1990. 8. 日本[生活クラブ千葉]と交流<br>▪1992. 5. リサイクル運動 展開<br>▪1993. 2. 国産小麦活用 運動本部 加入<br>▪1997. 1. 生活材委員会<br>.8. 組織広報委員会<br>▪1999. 2. 日本[ｸﾞﾘｰﾝｺｰﾌﾟ事業連合]研修<br>12. アニャン(安養)店 開設(1 号店) | ▪2000. 2. 法人創立総会(生協法人)<br>▪2001. 7. [生活材委員会] 日本研修<br>▪2003. 2. ヨントン店 開設(2 号店)<br>▪2004. 6. 生協首都圏連合会 物流ｾﾝﾀｰ 竣工<br>▪2005. 5. バルン生協 20 周年 行事<br>▪2006. 6. ピョンチョン店 開設(3 号店)<br>▪2007. 1. 生産地(ﾎﾝｿﾝ･洪城) 子ども冬季ｷｬﾝﾌﾟ<br>7. チョンチョン店 開設(4 号店)<br>▪2008. 8. トンタン店 開設(5 号店) |
| 構　成<br>（体　系） | ▪組合員 総会　▪生活材委員会　▪事務局<br>▪理事会　▪編集(委員)会　-常務理事(1 名)　-総務会計(2 名)<br>▪감사회　▪교육,홍보위원회　-無店舗(6 名) -店舗(17 名) -組織広報(3 名) | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 組合員数 | 6,300 名 | 出資金 | 3 億 2 千万ｳｫﾝ | 供給高 | 50 億ｳｫﾝ/年 |

| | | |
|---|---|---|
| 主要事業<br>及び<br>活動 | ▪保育園及び幼稚園 地域事業<br>▪生活材購買及び供給事業<br>▪生産地交流活動<br>-産地との姉妹結縁<br>-子どもキャンプ及び見学 | ▪アナバダ市場及び物資支援<br>-産地及び農村への本贈与<br>-不用品交換及び販売市場<br>▪生協関連団体との諸活動 |